

**教育・保育理念**  
・自分も友だちも大切にできる心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

**2023年度重点目標**

1. 人とかかわりの中で自分も人も大切に思える気持ちを育む
2. 心身ともに健やかな子どもを育む
3. 自分の居場所があり安心して過ごせる環境を作る
4. 自分らしさが大切にされ、仲間とともにいきいきと過ごす
5. 好奇心、探求心をもって主体的に遊ぶ力を育てる
6. 信頼関係を礎にし、保護者の子育てを支える。

**園の重点項目** 様々な人と豊かにかかわる中で自尊感情や人への信頼感、安心の気持ちを育み、“みんなの中の自分”を心地よく感じられるようにする。

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
人とかかわりの中で自分も人も大切に思える気持ちを育む	乳幼児期の応答的な関わりを通して情緒の安定や自己肯定感を育み、違いを認め合ったりお互いを尊重する心を育てる。	・園児の表情や行動を温かく見守りながら、思いをうけとめ自尊感情を育てる ・人との関わりを通して、お互いを尊重し合えるよう人権を大切にできる心を育てる ・お互いのことを認め合い、共に育ちあうクラスづくりを行う(国籍・ジェンダー・障がい等) ・様々な経験を通して、協調性や思いやりの気持ちを育てる(異年齢交流をふくむ)	A 一人一人の気持ちを受けとめ、子どもの姿や発達に応じた応答的な関わりを通して大人との愛着関係や信頼関係を築くことができた。保育教諭の関わりが園児たちにとっての安定につながり周囲にも興味を持てるようになり友だちとの関わりへとつながっている。さまざまな行事ができるようになり異年齢交流では小さいクラスの子どもは大きいクラスの子どもへの憧れの気持ちをもち大きいクラスの子どもは頼られることからの自信が付き思いやりの芽生えが見られた。 B	A A A A A A A
心身ともに健やかな子どもを育む	友達や保育教諭と一緒に体を使った遊びに取り組み、しなやかな体作りをしていく。 意欲的に生活したり遊んだりするための基礎として家庭と連携しながら基本的な生活習慣を身につけ、生活リズムを整える。	・年齢に応じて1年間充分体を使う活動を考え、実践していく。 ・「友だち」といって心地よい、楽しい、遊んだら面白いと感じる関係を築き、遊びが楽しめるようにする。 ・「研鑽」や「習得」を通して職員が専門性を向上させ、保育内容の工夫などを交流し答えながら日々の実践に活かす。 ・一人一人の家庭状況を理解し、園児が安心して心地よく過ごせるようにする ・一日の生活リズムや在園時間や個人差を共通理解し、教育・保育内容や方法について配慮した計画を立て工夫する ・保護者と信頼関係を築き、子どもにとっての視点で話し合いながら健康的な生活が送れるようにする。	A 年齢に応じて1年を通して 戸外あび、散歩、リズム等 全身を使った遊びを計画し実践してきたことで体を動かすことの楽しさ心地よさを感じている。 A 暑さが厳しい時期は室内で工夫して活動できるようにしているが課題である。今年度の園内研修は職員自身が学びたいテーマを選び研修に取り組みました。日々の教育・保育に活かすことができ実践を通しての学びとなった。 A 心身ともに健康に過ごせるように保護者との連携を大切に。必要に応じては看護師、栄養士とも相談し子どもにとってどうかを基本に考えたことで保護者子どもの安心につながっている。 A B	A A A A A A A
自分の居場所があり安心して過ごせる環境を作る	気持ちを受け止めてもらうことで安心して自分の思いを表現し、自分らしさや主体性を大切にもらいながら生活を作っていく。	・保育教諭との温かいふれあいを通して愛着関係を育み、意欲的に生きていく力につなげる ・大人との愛着関係や安心感のもと、自分らしさを発揮し、認められる体験を通して信頼関係を築く ・職員同士が連携して「子どもにとって」の視点で話し合い、教育・保育を進めていく ・支援が必要な園児の指導については集団の中で他の園児との関係を育て、共に成長できるようにする	A 0歳クラスでは保育担当制を行い愛着関係が築けたことで大人が安心できる存在となっている。 B 思いを受けとめてもらえる経験を重ねることで保育教諭との信頼関係を深め安心して生活できる場となっている。職員間では日々のミーティングでや年齢会議で園児の情報を共有し同じ思いをもって関わられるようにしている。 A B	A A A A A A
自分らしさが大切にされ、仲間とともにいきいきと過ごす	ありのままの自分でよいという安心感をもって様々な人と関わり、喜怒哀楽の感情を共有しながら仲間の大切さや気持ちの整え方を知る。	・こどもの発達過程に応じ、個人差に配慮しながら発達を保障する ・「友だち」といって心地よい、楽しい、遊んだら面白いと感じる関係を築いていく ・折り合いをつける体験をしたり、きまりの必要性に気付けるような生活や集団あそびをする ・子どもが主体となり興味を持って取り組んだり、友だちや保育教諭と話し合う中で、考えを広げたり深めたりしながら、深い学びにつながる実践を展開する	A 乳児ではまずは大人との関係からはじまり友だちへと関心が向き面白そうな事をしていくと真似てやってみようとする姿が見られ友だちとの関係が広がっている。 A 「かして」「どうぞ」「いや」「ありがたう」など大人との仲立ちのもと思いを伝えることを経験している。幼児では自分の思い感情をどのようにコントロールしていかかわからない姿もあるが保育教諭を受けとめ気持ちを整理することで言葉での表現へとつながっている。 B 行事を経験する中で自分の気持ち友だちの気持ちに気づき取り組みや遊びにはルールが必要であることを感じるようになり、子ども主体の遊びが展開されつつある。 B	A A A A A A
好奇心、探求心をもって主体的に遊ぶ力を育てる	ドキドキワクワクするような様々な活動を通して達成感や充実感、持続力や集中力を養い、主体的に夢中になって遊べるようにしていく。	・園児の興味・関心に基づき、遊びこめる環境を整える ・自然とのふれあいや実体験を大切に、生活や遊びの中での学びを保障する ・あそびの中で思考力や集中力を養い、成功体験や失敗体験からあきらめないうり組み力育てる ・園児の意欲や探求心などを引き出すような保育教諭の関わりを大切に	A 子どもたちが興味・関心を持てるものとして今年度は「環境」に重点をおき取り組みを進めてきた。年間を通しての菜園活動や小動物の飼育に取り組み観察したり自然物を見たり触れたりすることで季節を感じる事ができた。また自然物を利用したあそびを通しては繰り返すな考えたり、試したりする姿も見られ実体験の大切さを感じた。菜園活動で収穫したものを食べることで食に関する興味も大きくなっている。 A B B	A A A A A A
信頼関係を礎にし、保護者の子育てを支える	保護者の思いを尊重し寄り添う姿勢を大切にしながら、専門性を発揮した関わりや援助によって保護者のよりよい自己決定や親子が良い状態で向き合える関係づくりを支える。 園庭開放や育児講座、一時保育の利用などで地域の保護者と積極的にかかわりながら子育てに関する相談窓口、情報発信、保護者同士のつながりづくりなど、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。	・家庭環境やニーズを受け止め、保護者の気持ちに寄り添い、共感する ・保護者自身が子育てが楽しいと思え、向き合えるように、出来ることを一緒にみつける ・送迎時や懇談、行事、配布物など様々な機会を活用し、「保護者」に教育・保育内容や子どもの姿を工夫して伝え子どもの成長を共有する ・地域の中の公立こども園の役割を認識し、関係機関や団体等と連携、協力を図り、適切な子育て支援を行う ・地域の人材の活用や、情報提供を積極的にに行い、地域と共に子育てを進める ・一時保育を利用しやすい環境を整え、保護者の育児や子どもの発達を支援する	B 保護者には、送迎時を利用し園児の様子を伝えるとともにクラスの様子を今年度より配信するようになった。配信に関しては今後写真等の添付も充実させ日々の教育・保育内容をわかりやすく伝える工夫をする。 B 懇談会(個人、クラス)を実施することで園児の育ちを共有してきた。 A 園庭開放、育児講座の実施、子育てひろば等への参加を通して地域の子育て支援をすることができた。地域に職員が向向くことで地域の方が気軽にこども園を利用してもらえることに繋がっている。4、5歳児は区民まつり、西のついでい いきいきサロンに参加させていただき貴重な経験になりました。一時保育においては利用を希望される方と丁寧に面談を行いニーズを把握し保護者、子どもにとって安心な場となるようにしている。	A B A A B B A

**今後の取り組むべき課題**

課題	具体的な取組方法
しなやかな体づくり	基本的な生活習慣と生活リズムを整える 戸外や室内で基本的な運動に加え集団あそびなどを取り入れ体を動かすことの楽しさを感じることができる取り組みを行う。
主体的に活動できる保育環境づくり	さまざまな遊びをやってみたいと思える環境を作る。 ・子どもの興味、関心に応じた教材 場所 時間について考える。

園長より

子どもたちが主体的に活動できるように職員間で話し合い日々の教育・保育を工夫してきました。異年齢交流やお楽しみ会などの取り組みも徐々に増え、経験することで子どもたちの「楽しかった」「またやってみたい」という気持ちにつながったと思います。今後子どもたちがやってみたいと思えるような活動ができるように環境を整えて行きたいと思っています。また キッズビューを利用し教育保育を保護者の方々にわかりやすく発信できるようにしていきたいと思っています。一年間 ご理解ご協力ありがとうございました。